

愛知県無形民俗文化財

「祖父江の虫送り」に参加しました！！



松明づくり



実盛人形づくり



今年の実盛人形



虫送りの行列



昇天する実盛



最後に杏和生と卒業生で

虫送りは麦わらで作った実盛（サネモリ）人形をシンボルとして鐘・太鼓を鳴らし松明の行列を作り、燃え盛る炎の中に実盛人形を昇天させ豊作を祈る江戸時代から続く伝統行事です。「祖父江の虫送り」は県の無形民俗文化財に指定されています。そんな祖父江の虫送りも一時的に中止されることもありましたが、現在は稲沢市立牧川小学校に場所を移し、実行委員会形式で行われ行事が引き継がれています。

私たち杏和高校は 2014 年から参加し、年々参加する生徒も増え当日は担い手の一部として活躍しています。

今年は、7月6日（土）の昼間に実盛人形と松明づくりが行われ、夜の7時から勇壮な虫送りが行われました。

昼間の作成時間には生徒20人ほどが参加しました。あっという間に地域の人とうちとけて楽しいひと時を過ごせました。人形の足づくりに関わる生徒、手綱づくりに関わる生徒など、地域の方の指導のもと各自がいろいろなパーツ作りに参加させてもらいました。3mほどの松明作りの多くの生徒が関わりました。夜の行列では火や煙と格闘し無事コースを一周しました。夜空に燃え上がる実盛の炎は格別なものがありました。地域の人と関わったり、伝統行事にふれあう機会が少ない現在、生徒にとっては思い出深い1日になりました。

当日の様子などが twitter アカウント「祖父江の虫送り」で公開されています。

